

1. リンゴの農薬除去データです。

リンゴ

(1) 防除暦の通り農薬を散布しました。

表 1

(2) <sup>※</sup>リンゴに慧一の水をスプレーしました。

図 1

(3) スプレー後のデータです。

ほとんどの農薬が除去されています。

表 2-1)

表 2-2)

2. 電解電子機能水を用いたDDVP (ジメチル-2,2-ジクロルビニルフェスレート)

$(\text{CH}_2\text{O})_2\text{P}=\text{OCH}=\text{CCl}_2$  (DDVP) 9.87% 除去

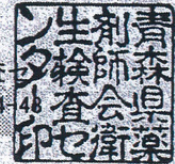
竹内敏一は当機構の顧問の一人です。2008年の論文です。

日本で最初の電解水で特許号(群馬大)も取得しました。



第 2017-002322 号  
2017年08月16日依頼者 XXXXXXXXXX 殿

検体名 りんご

一般社団法人青森県薬剤師会衛生検査  
〒030-0142 青森市大字野木字山口164-48

## 試験検査成績書

2017年08月04日 当検査センターに搬入された上記検体について試験検査した結果は下記のとおりです。

## 試験結果1

試験項目 (農薬名)	試験結果 (ppm)	検出限界値 (ppm)	残留基準値 (ppm)
イミベンコナゾール	不検出	0.01	1
エトキサゾール	不検出	0.01	0.5
カルバリル	不検出	0.01	1.0
キャブタン	不検出	0.01	5.0
クレソキシムメチル	不検出	0.01	5
クロルピリホス	不検出	0.01	1.0
シアノホス	不検出	0.01	0.2
シエノピラフェン	0.03	0.01	2
シハロトリン	不検出	0.01	0.4
ジフェノコナゾール	不検出	0.01	0.8
シフルトリン	0.02	0.01	1.0
シペルメトリン	不検出	0.01	2.0
ダイアジノン	不検出	0.01	0.1
テブコナゾール	不検出	0.01	1
テブフェンピラド	不検出	0.01	0.5
トリフロキシストロビン	不検出	0.01	3
トルクロホスメチル	不検出	0.01	0.1
ビフェナゼート	不検出	0.01	2
ビフェントリン	不検出	0.01	1
ピリダベン	不検出	0.01	1
フェナリモル	不検出	0.01	1.0
フェニトロチオン	不検出	0.01	0.2
フェントエート	不検出	0.01	0.7
フェンブコナゾール	不検出	0.01	1
フェンプロパトリン	不検出	0.01	5
ブプロフェジン	不検出	0.01	3
プロチオホス	不検出	0.01	0.3
プロバルギット	不検出	0.01	5
ヘキサコナゾール	不検出	0.01	0.5
マイクロブタニル	不検出	0.01	0.5
メチダチオン	不検出	0.01	0.5

・試験方法は、ガスクロマトグラフ質量分析法による。

試験結果2

試験項目(農薬名)	試験結果 (ppm)	検出限界値 (ppm)	残留基準値 (ppm)
アセタミプリド	0.02	0.01	2
イミダクロプリド	不検出	0.01	0.5
エチプロール	不検出	0.01	1
オキシシン銅	0.69	0.01	2
加バ <sup>ン</sup> ダ <sup>ジ</sup> ム、チ <sup>オ</sup> ファ <sup>ネ</sup> ト <sup>メ</sup> チ <sup>ル</sup> 及 <sup>び</sup> ハ <sup>ニ</sup> ミ <sup>ル</sup>	0.09	0.01	3
クロチアニジン	不検出	0.01	1
クロラントラニリプロール	0.01	0.01	1
クロルフルアズロン	不検出	0.01	2.0
ジクロルプロップ(2,4-DP)	不検出	0.01	3
ジノテフラン	不検出	0.01	2
ジフルベンズロン	不検出	0.01	1.0
シフルメトフェン	不検出	0.01	2
シプロジニル	不検出	0.01	5
シメコナゾール	不検出	0.01	0.5
スピネトラム	不検出	0.01	0.5
スピロメシフェン	不検出	0.01	2
チアクロプリド	不検出	0.01	2
チアメトキサム	不検出	0.05	0.3
テブフェノジド	不検出	0.01	2
テフルベンズロン	不検出	0.01	1
ピラクロストロビン	不検出	0.01	1
ピリフルキナゾン	不検出	0.01	0.5
フルアジナム	不検出	0.01	0.5
フルフェノクスロン	不検出	0.01	1
フルベンジアミド	0.11	0.01	1
フロニカミド	0.07	0.01	1
ボスカリド	不検出	0.01	2
ミルベメクテン	不検出	0.05	0.2
メパニピリム	不検出	0.01	2
ルフェヌロン	不検出	0.01	0.7
ペンチオピラド	不検出	0.01	2

・試験方法は、液体クロマトグラフ質量分析法による。

試験結果3

試験項目(農薬名)	試験結果 (ppm)	検出限界値 (ppm)	残留基準値 (ppm)
イミノクタジン	不検出	0.02	0.3
ジチオカルバメート(CS2として) ※	不検出	0.02	5
フルオルイミド	不検出	0.04	10
ホセチル	0.6	0.5	75

- ・イミノクタジン試験方法は液体クロマトグラフ質量分析法による。
- ・ジチオカルバメート(CS2として)試験方法は高速液体クロマトグラフ法による。
- ・フルオルイミド試験方法は液体クロマトグラフ質量分析法による。
- ・ホセチル試験方法はガスクロマトグラフ法による。
- ・※ ジチオカルバメート(CS2として)は、ジネブ、ジラム、チラム、ニッケルビス、プロピネブ、ポリカーバメート、マンコゼブ、マンネブをCS2に換算したもの。

■特記事項

- ・花おち、しん及び果梗の基部を除去した検体を用いた。
- ・残留基準値は、食品衛生法第11条(いわゆるポジティブリスト制度施行後の「りんご」の残留基準)により、一般社団法人青森県薬剤師会衛生検査センターが、官報及び厚生労働省発表資料を基に独自に編集したものでありますので、この表の数値等をご利用になる場合は、官報等で再度ご確認ください。

＜注意事項＞

1. 本結果は依頼された検体についての試験検査結果であり、当該検体の母集団を保証するものではありません。
2. 当センターは試験検査結果についてのみ責任を負い、試験検査結果および試験検査成績書等に起因する紛議または経済的負担に関して、一切の責任を負いません。
3. 本成績書の内容を無断で利用しないで下さい。(利用とはウェブサイト配信、その他類似する行為全てを言う。) 利用およびそれに類する行為に関しては事前に当センターに承諾を得て下さい。



图 1

